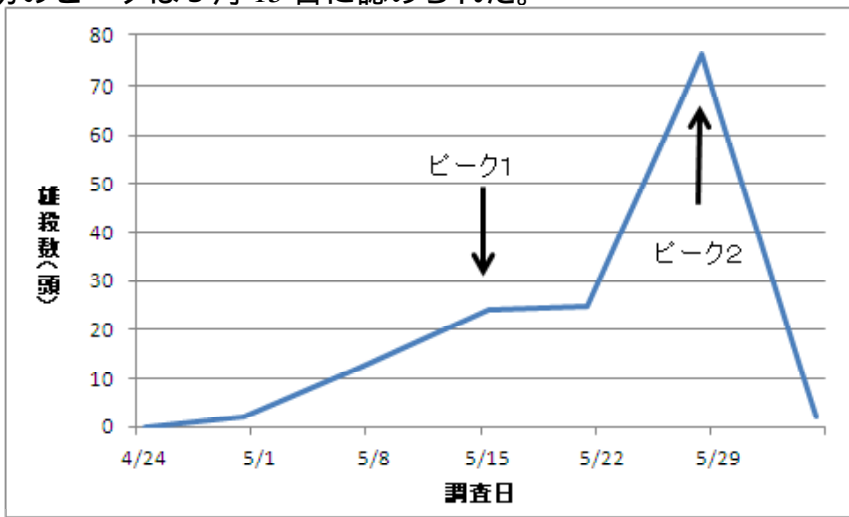


フジコナカイガラムシ情報 第1号(カキ)

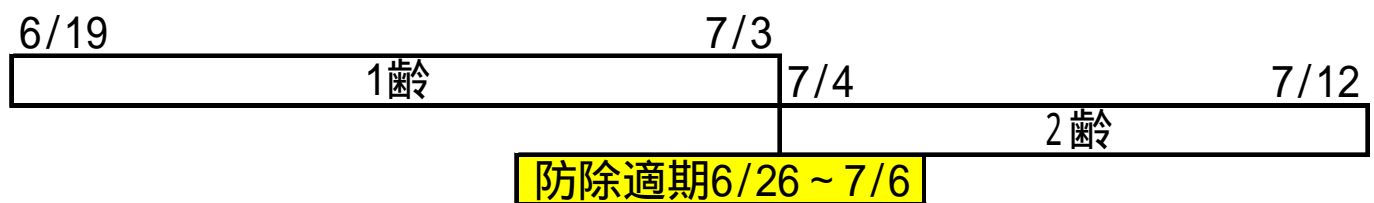
2012年6月5日
島根県病害虫防除所

予想防除適期(第1世代幼虫): 6月26日~7月6日(6月5日計算)
対象地区: 出雲市(県西部は出雲市の予測より4~5日早くなります)

予測の根拠: フェロモントラップを出雲市東福町のカキ園に4月6日から設置しフジコナカイガラムシの越冬世代雄成虫を調査した。その結果、本年の誘殺数の最初のピークは5月15日に認められた。



5月15日を起点とし平均気温(6月4日までは2012年の気温、それ以後は平年値)を用いて次世代(第1世代)の発生時期を予測すると1齢期6月19日~7月3日、2齢期7



月3日~7月12日となり、防除適期は6月26日~7月6日と推定された。
参考: フジコナカイガラムシ防除の最も重要な防除時期は第1世代の若齢幼虫期とされている(例年6月下旬)。フジコナカイガラムシの性フェロモンによる発生状況と発育データを使って今後の発生を予測し、それに基づいて最適な防除時期を示した。今後も引き続き雄成虫の誘殺ピークにより発生予測を行う予定である。
なお、この予測は一部山間地では1週間以上遅くなりますのでご注意ください。